

平成 29 年 4 月 24 日
商 工 中 金

「地域連携支援貸付制度」山形県第 1 号案件 機能性の高いキビソの糸造りに取り組み、「鶴岡シルク」 の商品開発に貢献する松岡株式会社を金融面からサポート！

商工中金は、平成 28 年 4 月に「地域連携支援貸付制度」を創設し、幅広い事業者が連携し、農林水産物や観光資源等の地域資源を活用して成長を目指す取り組みをサポートしています。商工中金が期間 10 年一括償還・成功利払いの長期資金を供給することで融資先の事業リスクを軽減しつつ、民間金融機関と協調して融資に取り組み、地域経済の活性化を図るものです。

商工中金（酒田支店）は、同制度を活用し、**松岡株式会社**（本社：山形県酒田市、代表者：氏家 昇一氏）に対し、**荘内銀行**と協調して、同社が機能的な糸を製造し、**鶴岡織物工業協同組合**が「鶴岡シルク」ブランドの商品を製造販売する事業の必要資金 2 千万円を融資しました。本件は同制度の**山形県第 1 号案件**となります。

松岡株式会社は、荘内藩が産業振興したことから絹織物が盛んとなった庄内地方において、松岡製糸所として創業以来、業歴 130 年を誇る老舗企業です。現在は、絹織物用の製糸に加えて、精密な製造・加工技術を生かした、機械の組立加工や航空機内装品の製造も行っています。

同社は、国内でも希少なシルク製糸業者として、納入先の織物業者とともに、シルク製品の付加価値向上に取り組んできました。今回、技術的に難しく活用されなかったキビソと呼ばれる繭の一部を活用した機能的な糸を同社が製造し、共同事業者の**鶴岡織物工業組合**とその組合員企業が、肌にやさしい機能的なシルク製品を地域特産品として商品化する事業計画を策定しました。

商工中金は、地域資源である「鶴岡シルク」ブランド商品の販売拡大が、各工程を担う関連企業をはじめ地域経済へ高い波及効果がもたらすこと、また、地域の雇用維持に寄与することなどを高く評価し、**荘内銀行**と協調して必要資金を融資しました。

商工中金は、今後も全国各地の地域資源を活用する事業に本制度を活用しながら、地域経済の活性化に貢献してまいります。

【代表企業：松岡株式会社の概要】

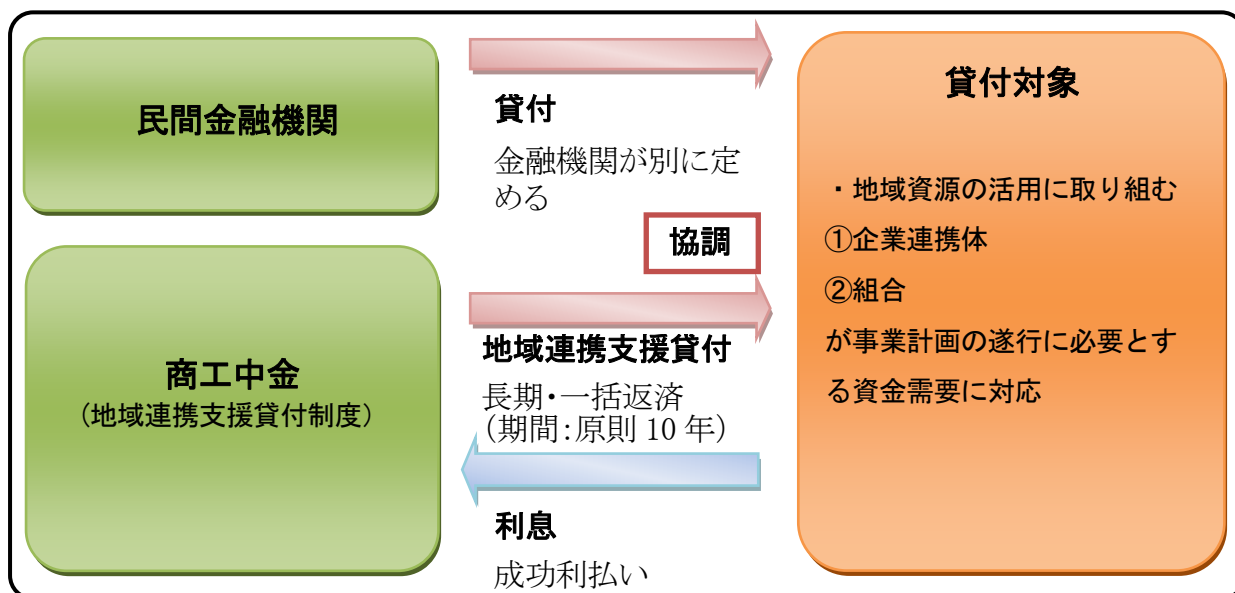
所在地	山形県酒田市字仲町 20	資本金	1 億円
代表者	氏家 昇一	従業員数	400 名 (平成 29 年 3 月現在)
業種	一般機械器具、金属製品製造業	設立	昭和 17 年 7 月

【共同事業者：鶴岡織物工業協同組合の概要】

所在地	山形県鶴岡市大宝寺字日本国 223-5	出資金	3,247,500 円
代表者	氏家 昇一	設立	昭和 26 年 10 月
業種	織物および関連物品の共同販売業	組合員数	4 名 (平成 29 年 3 月現在)
組合員企業	松岡機業株式会社、羽前絹練株式会社、有限会社芳村捺染、東福産業株式会社 (いずれも所在地は山形県鶴岡市)		

【参考：地域連携支援貸付制度の概要】

1. スキーム概要



2. 貸付制度の概要

【貸付条件】

貸出形式	証書貸付
限度額	1 計画あたり 5 億円
償還方法	期限一時返済
利率	成功の場合は当金庫所定の利率、不成功の場合 0.6%
貸付期間	原則 10 年

【利率（成功判定）】

- ・利率は、事業の成否に応じた変動金利とする。
- ・債務者の直近決算の経常損益が赤字の場合は 0.6%、黒字の場合は商工中金所定の利率とする。
- ・なお、黒字の場合であっても、地域資源活用計画期間中は、地域資源指標の達成率が 80% 未満の場合は 0.6% とする。